

双葉通信【第 184 回】(人生は旅人No.6) “ふくしまに恋をして 福島人に” 20230820

猛暑、お見舞い申し上げます。今年は、福島も猛暑です。毎日 30 度を超える日が続いています。夜は少ししのぎやすくなってきました。

東北の夏 短い夏(今年は長い) 夏祭りの夏

東北と言えば夏祭り、短い夏に東北の人達のエネルギーが爆発します。東日本大震災と福島第一原発事故で、被災者の人達がきちんと整列して、食料や日用品をもらうのを見て、ドイツの放送記者はびっくりしました。「ドイツでは暴動が起こっている」と。東北人は忍耐強いのかもかもしれません。その忍耐強さが爆発するのが、東北の夏祭りです。

町人の財力と心意気—花輪ばやし(秋田県鹿角(かづの)市花輪)

8 月 19 日、花輪ばやしを見に秋田県鹿角市へ行きました。盛岡駅から花輪線に乗るつもりでしたが、集中豪雨で電車は運休になってしまいました。そこで、高速バスに乗って約 1 時間 30 分で鹿角花輪駅に着きました。この街も、古い歴史のある街並みです。

鉾山の隆盛と花輪のまちの発展

「花輪のまちは尾去沢鉾山と共に繁栄してきた鉾山の町であり、全国から鉾夫たちが大いに集まり、その賑わいに伴って商人や芸人などが入り込んできたことで、各地の風習や文化、芸能などが入り交じり、鹿角ならではの独特な文化が醸成され、花輪祭を筆頭に現代にも受け継がれています。また、北国特有のこもせの街並みの面影を今も残しており、代表的な旧関善酒店主屋は、奥蔵美術館としてかつての町の生活様式を今に伝えるほか、鹿角地域に伝わる民話の披露会などの地域感溢れる催しも行われています。

世界に誇る祭のまち 花輪の町踊り

8 月下旬から中秋の名月頃まで、花輪の町通りで篝火を囲んで踊りが繰り広げられます。三味線、太鼓の囃子と唄につれた軽快なテンポと緩急に富む優雅な踊りで、伝承曲は 12 曲です。

花輪ねぶた 8 月 7 日・8 日

花輪に伝わる七夕行事。10 町内が将棋の駒形をした高さ 5 m 余りの灯籠と、直径 2m の大太鼓を打ち鳴らしながら巡行し、その絵と演奏の素晴らしさを競います。8 日には稲村橋で火を放たれた灯籠が煌々と燃え上がり、夜空には花火が盛大に打ち上げられます。

花輪祭の屋台行事【花輪ばやし】 8 月 19 日・20 日

花輪の総鎮守で『産土神(うぶすな)さん』として親しまれている幸稲荷神社と、里の神である花輪神明社との合同祭礼に奉納される祭礼ばやしです。夜通し街中を練り歩く絢爛豪華な 10 町内の屋台と、若者たちが熱を込めて奏でるお囃子は圧巻の迫力で、日本三大ばやしの一つにも数えられています。また、「道の駅かづの」では通年で本物の屋台が展示されており、動画による花輪ばやしの由来や解説を交えながら、間近で見学することができます。」(鹿角市観光パンフレット(電子版)【文化・歴史編】観光ガイドブック(PDF:12.1MB))



【祭のハイライトー10 台の屋台ばやしの行列（秋田県鹿角市花輪）】（2023 年 8 月 19 日撮影）



【案内役と引きて 屋台の中では太鼓や三味線・笛の演奏が（秋田県鹿角市花輪）】